

# きらり人

全国高校ソフトボール大会での活躍を誓う

## みずの 水野 ちあき 希 さん



**PROFILE** みずの・ちあき (16: 上朝比奈)  
県立掛川東高等学校1年。女子ソフトボール部に所属。右投げ右打ち。  
50m走は7秒7。

### もう一度夢を追う ソフトの名門へ進学

「中学でソフトボールをやめようと考えていたんです。でも続けて良かった。ソフトボールが大好きです」。そう笑顔で話す水野千亜希さんは、現在掛川東高の女子ソフトボール部に所属している。同校は昨年11月に開かれた第44回県高校女子新人ソフトボール大会で優勝し、3月20日から山口県宇部市で開催される第29回全国高校女子ソフトボール選抜大会へ出場する。

水野さんは野球をしていた兄の姿を見て、小学4年からソフトボールを始めた。「どうせやるんだつたら、厳しくてもいい、強いチームでソフトがやりたい」と掛川市のチームに入団した。中学でもソフトボール部に入部したが、高校進学時には続けるかやめるか迷ったという。「もうソフトはいいかな。遊びたいなと思ってしまったんです。でもソフトをやめたら私に何が残るのか、目標がないと前向きになれないということに気が付きました」。もう一度ソフトボールで全国を目指そうと、掛川東高女子ソフトボール部の門を叩いた。

### やっとつかんだ レギュラーの座

高校へ入学すると厳しいサバイバルの世界が待っていた。さすがは県高校女子ソフト界の名門校。県内各地から、全国を目指すなら掛川東高と精鋭たちが集まり凌ぎを削っている。「県大会はレギュラーではなかったんです。冬の間、得意の打撃を磨き続けてやっとD.P(指名選手)で使ってもらえるようになりました。でももっと頑張らないといけません。気を抜いたらすぐに落とされてしまいますから」

### いざ全国へ 活躍こそ恩返し

水野さんは、毎朝5時45分家を出発し朝練習へ参加。夕方の全体練習の後に自主練習をして、帰宅するのは午後10時。休みは毎週月曜日と12月30日、元旦までの3日間のみというソフトボール漬けの毎日を送っています。「両親には本当に感謝しています。毎日私のために自分の時間を割いて送迎してくれるんです。私より先に起きてお弁当も作ってくれます。全国で結果を残したいです。それが恩返しだと思います」と健闘を誓った。